



飛躍への挑戦！
高知県産業振興計画

第3期高幡地域アクションプランの進捗状況等について
平成29年度地域アクションプランの追加項目（案）

高 幡 地 域 本 部

平成29年9月6日（水）

高幡地域アクションプランの進捗状況等

H 2 9 . 9 . 5
高幡地域本部

1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

(1) 総評

全 42 項目の地域アクションプランについて、実行支援チームを編成し、事業推進に向けた協議と進捗管理を行うとともに、各支援制度の活用などにより、それぞれの目標の達成に向けて取り組んでいる。

農業分野では、まとまりのある産地づくりなどにより、みょうがやにらなど全国トップのシェアを誇る園芸品目の品質確保と生産拡大に取り組むとともに、中山間地域でのゆずや加工用わさびなど補完品目の生産拡大と複合経営などによる農家所得の向上を目指して取り組みを進めている。

J A 土佐くろしおの直販所「とさっ子広場」は、地元の豊富な農産物、水産物の販売のほか、イートインコーナーでの軽食の提供などにより、販売額など順調に推移している。

また、四万十栗のブランド化と関連産業を含めた地域産業クラスターの形成を図るため、栗の生産拡大とともに、加工施設の整備に向けた取り組みを進めている。

畜産分野では、養豚農家自らが産振総合補助金を活用して整備した加工・直販所が昨年 4 月にオープンし、順調に売上を伸ばしているほか、養豚規模の拡大と生産効率の改善に向けた畜舎の整備が 5 月に完了し、農場 HACCP の認定取得や母豚の増頭などに取り組んでいく。

林業分野では、四万十町森林組合が F S C、S G E C の森林認証材など「四万十ヒノキ」をはじめとする地域材のさらなる販売促進を図るため、都市部の家具デザイナーやバイヤーの産地への呼び込みによる成約率の向上を目指して、集成材製品の展示・商談施設を整備しており、外構工事を含め、10 月中旬の完成を予定している。また、今秋、県立新図書館へ納入する木製書架等の原材料である木材の調達を始めており、さらなる売上の増が期待される。

水産業分野では、須崎市と中土佐町の 2 か所の水産加工施設において、加工機器の導入や県外の取引先への定期的な外商活動等が行われており、販売量を徐々に拡大している。

商工業分野では、中土佐町の情報発信や地産外商の中心拠点となる「道の駅なかとさ」が、7 月 6 日に落成、7 月 15 日にグランドオープンした。その後も 7 月末現在で施設全体の売り上げが 43 百万円を超え、レジ通過者数も 4 万人を超えるなど順調に推移している。今後は、その他の既存の地元スポット（大正町市場など）とのさらなる相乗効果が図られるよう、道の駅案内所での町内観光地のきめ細やかな案内に加えて、「大正町市場」や「上ノ加江地区」などとの連携策の検討が必要である。

観光分野では、須崎市で浦ノ内湾を海洋スポーツの拠点として整備しており、スポーツ大会の開催や体験型観光等の推進による地域の活性化を目指して工事等に着手している。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.1 地域基幹園芸品目の生産振興と農家の所得向上(須崎市、中土佐町、津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A土佐くろしお 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>主要農産物3品目(みょうが、きゅうり、ししとう)</p> <p>販売額: 92億円<H27:85.6億円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>販売額: 88.2億円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>販売額: 82億円 → 実績 85.6億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目慣らし会: 11回 ・ 現地検討会: 7回 ・ 勉強会: 2回 ・ 栽培現地実証ほの調査: 14ヶ所 ・ IPM技術の実証ほの調査: 5ヶ所 ・ 環境制御技術の実証ほの調査: 19ヶ所 ・ JA土佐くろしお管内農業振興連絡協議会において関係者間で活動計画の検討と目標の共有化 ・ 環境制御技術を活用した栽培に関心を持つ農家が増加中 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栽培技術の定着化 ⇒目慣らし会等の開催、定期的な巡回指導の実施
<p>■No.2 J A土佐くろしおが担う地域農業の活性化(須崎市、中土佐町、津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (株)土佐くろしお村村営みのり ・ J A土佐くろしお 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>全作業受託面積: 10ha<H27:5ha></p> <p>一部作業受託面積: 54ha<H27:28ha></p> <p>直販所販売額: 195,100千円<H26:77,185千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>全作業受託面積: 14ha</p> <p>一部作業受託面積: 30ha</p> <p>直販所販売額: 201,000千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>全作業受託面積: 9ha → 実績 13ha</p> <p>一部作業受託面積: 30ha → 実績 27ha</p> <p>直販所販売額: 142,747千円 → 実績 235,367千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全作業受託面積(7月末): 13ha ・ 一部作業受託面積(7月末): 11.3ha ・ 直販所販売額(7月末): 113,447千円(前年同期比186%) <p>[「村営みのり」農作業受託]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取締役会(5/2)、総会(6/30)の開催

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・コンバイン導入に向けた取り組み (すさきがすきさ産業振興推進総合支援事業申請:5/2、 入札会:5/30) コンバイン導入(7月) 〔「とさっ子広場」直販所〕 ・運営委員会(4/4、6/21)、通常総会(4/19) ・1周年記念祭(5/26～5/27) ・出荷者協議会県外視察(6/1) ・イベント実施(うなぎのかば焼き)(7/25) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定的な受託作業の仕組みづくり ⇒多様な受託作業に対応可能な体制の構築 ・直販所の売上向上 ⇒野菜栽培講習会開催による出荷及び生産の拡大と商品 包装勉強会による商品の磨き上げ
<p>■No.4 中山間地域での持続可能な農林業経営の確立(梶原町、津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA津野山 	<p>[目標(H31)]</p> <p>主要農産物5品目(みょうが、土佐甘とう、ししとう、米なす、小なす)販売額:3.2億円<H26:2.7億円></p> <p>農業分野補完品目(ゆず+加工用わさび)販売額: 20,000千円<H26:8,099千円></p> <p>所得400万円以上の農家数:8戸<H26:6戸></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>主要農産物5品目販売額:3.5億円 農業分野補完品目販売額:28,625千円 所得400万円以上の農家数:8戸</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>主要農産物5品目販売額:2.9億円 → 実績4.0億円 農業分野補完品目販売額:14,500千円 → 実績23,029千円</p> <p>所得400万円以上の農家数:6戸 → 実績9戸</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津野山地域営農連絡協議会開催:1回 ・生産部会等の開催:7回 ・実証ほの設置:7カ所 ・担い手育成、複合経営拠点等に係る協議の実施 協議会:1回、関係者打合せ:3回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者の確保 ⇒営農みらい塾への研修生受け入れ

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.5 葉にんにくを活用した加工食品の生産・販売の拡大(須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(株)アースエイド</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高:40,000千円<H26:5,719千円></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>売上高:30,000千円</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>売上高:30,000千円 → 実績35,290千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高(7月末):54,792千円(前年同期比859%) ・展示商談会等への参加:1件 ・新規取引先の開拓:10件 ・新商品の開発:2品目(黒にんにくチョコレート、アヒージョ) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良質な人材の確保 ⇒リクルートを目指した会社の魅力をPRする広報戦略の展開
<p>■No.6 大野見米のブランド化(中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・おおのみエコロジーファーマーズ</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>エコ米販売量:27t<H27:12.9t></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>エコ米販売量:22t</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>エコ米販売量:16t → 実績20t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会の開催:1回 ・執行委員会の開催:1回 ・圃場の巡回指導:3回 ・高知大丸での販促活動:1回 ・教育現場との交流活動:4回 高知県立大学(COME☆RISH):田植え体験交流(2回) 小学校:清流度調査・水生生物調査(1回) 中学校:清流度調査・水生生物調査(1回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者の拡大 ⇒エコロジーファーマーズの取り組み周知 (HPや口コミによる賛同者拡大の取り組み) ・作付面積の拡大 ⇒生産拡大に向けた営農指導

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.7 梶原産キジ肉の生産・販売の拡大 (梶原町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梶原町雉生産組合 ・梶原町 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>販売額 : 22,000 千円 <H26:14,367 千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>販売額 : 18,000 千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>販売額 : 17,000 千円 → 実績 17,944 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売額 (6 月末) : 2,452 千円 (前年同期比 109%) ・商談会への参加 : 1 回 ・アドバイザーにより、キジの捌き方や熟成、衛生管理等について指導(5/24) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路開拓 ⇒商談会への参加
<p>■No.8 肉用牛の生産拡大による地域産業の 活性化 (梶原町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人津野山畜産公社 ・梶原町 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>出荷頭数 : 129 頭 <H27 : 105 頭></p> <p>販売額 : 104,000 千円 <H27 : 100,969 千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>出荷頭数 : 105 頭</p> <p>販売額 : 93,700 千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>出荷頭数 : 105 頭 → 実績 101 頭</p> <p>販売額 : 93,700 千円 → 実績 104,978 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出荷頭数(7 月末) : 24 頭 (前年同期比 92%) ・販売額 (7 月末) : 29,877 千円 (前年同期比 107%) ・畜産公社と JA 津野山畜産部門の合併 (4 月) ・畜産クラスター協議会開催 : 2 回 ・畜舎建設地の造成工事完了 (6 月) ・畜舎等設計管理入札 (4 月)、畜舎設計書納品 (6 月) ・畜舎造成に係る産振総合補助金審査会 (7 月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新畜舎造成の早期着工 ⇒国補助金および県産振総合補助金の交付決定 (9 月予定)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.9 つの茶販売戦略(津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A津野山 ・ 津野町 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>茶製品販売額 : 34,000 千円<H26:13,596 千円></p> <p>荒茶販売額 : 54,000 千円<H26:51,218 千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>茶製品販売額 : 33,958 千円</p> <p>荒茶販売額 : 53,431 千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>茶製品販売額 : 25,901 千円 → 実績 25,630 千円</p> <p>荒茶販売額 : 52,489 千円 → 実績 47,769 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 茶製品販売額(6月末) : 4,547 千円 (前年同期比 98%) ・ 荒茶販売額(6月末) : 45,858 千円 (前年同期比 96%) ・ かぶせ茶農園の増 (農家 5→6 戸、面積 65→75a) ・ つの茶販売戦略会議 (1 回) ・ 大手企業との協賛事業実施 (協定式、交流イベント 1 回) ・ 販売促進の展開 (イベント販売) (4 回、7 日) ・ 県産品商談会等への参加 (1 回) ・ 商談会 (FOODEX JAPAN) 参加に向けた協議 ・ HACCP 認証取得に向けたアドバイザー指導 ・ 新製品の販売 (津野山テロワール) ・ 茶製品 (ペットボトル) のデザインリニューアル (2 種) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 茶製品の販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> ⇒イベント参加から販売先(主に卸売業者)の開拓に重点をシフト ・ 荒茶の販売単価の向上 <ul style="list-style-type: none"> ⇒つの茶の販売戦略計画に基づく買い取り支援 ⇒かぶせ茶への転換の呼びかけ
<p>■No.10 みどり市を核とした「地消地産」の推進(四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A四万十 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>「産直コーナー」の販売金額</p> <p>: 300,000 千円<H26 : 221,286 千円></p> <p>「手づくりキッチン」の販売金額</p> <p>: 35,000 千円<H26 : 30,047 千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>「産直コーナー」の販売金額 : 250,000 千円</p> <p>「手づくりキッチン」の販売金額 : 33,000 千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>「産直コーナー」の販売金額 : 250,000 千円</p> <p style="text-align: right;">→ 実績 241,607 千円</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>「手づくりキッチン」の販売金額：33,000千円 → 実績 39,176千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「産直コーナー」の販売金額(6月末)：60,654千円 (前年同期比100%) ・「手づくりキッチン」の販売金額(6月末)：11,592千円 (前年同期比120%) ・みどり市総会：1回 ・みどり市産直の運営に係る検討会：2回 ・手づくりキッチンの運営に係る検討会：3回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物の生産出荷量の増加 ⇒継続的な栽培技術支援 ・販売促進 ⇒全国のJAファーマーズとの連携強化 ⇒手づくりキッチンの新メニューの検討
<p>■No.11 四万十の栗再生プロジェクト (四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十の栗再生プロジェクト推進協議会 <p>※地域産業クラスター関連(四万十の栗プロジェクト)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>原材料供給量(JA集荷量)：45t<H26:17t> 加工品売上高：100,000千円<H26:33,320千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>原材料供給量(JA集荷量)：31t 加工品売上高：69,000千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>原材料供給量(JA集荷量)：25t → 実績 29t 加工品売上高：60,000千円 → 実績 74,620千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工品売上高(7月末)：12,119千円(前年同期比70%) ・四万十の栗再生プロジェクト推進協議会：役員会1回 総会1回 ・農業クラスタープランプロジェクトチーム会：2回 ・1.5次加工場の整備(4/18着工、9月上旬完成予定) ・GAP(生産工程管理)の取り組み支援(巡回指導)：1回 ・新梢調査(生育調査)：2回 ・栗技術チーム会：4回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栗の生産出荷量の増加 ⇒低樹高栽培に向けた剪定技術の普及

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 14 四万十町畑作振興プロジェクト (四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 四万十野菜合同会社 ・ (株) ハマヤ 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>販売額 : 118,911 千円 <H26:0 円></p> <p>雇用者数 : 18 人 (累計) <H26:0 人></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>販売額 : 96,978 千円</p> <p>雇用者数 : 12 人</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>販売額 : 76,660 千円 → 実績 47,649 千円</p> <p>雇用者数 : 7 名 → 実績 10 名</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 販売額 (5 月末) : 1,340 千円 (前年同期比 91.3 %) ・ 雇用者数 (5 月末) : 10 名 ・ 定例会 : 4 回 ・ 出荷施設整備への補助事業導入検討会 : 5 回 ・ 慣行栽培から特別栽培への移行について協議 : 5 回 ・ 野菜栽培指導 : 8 回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農産物の生産拡大 ⇒ 集出荷施設の整備、栽培技術の向上
<p>■No. 15 四万十のうまい豚プロジェクト (四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 四万十ポークブランド推進協議会 ・ 農事組合法人四国デュロックファーム ・ 農事組合法人平野協同畜産 <p>※地域産業クラスター関連 (四万十ポーク ブランド推進プロジェクト)</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>(農) 四国デュロックファーム売上高 : 551,545 千円 <H27:518,785 千円></p> <p>(農) 平野協同畜産母豚数 : 500 頭 <H27:420 頭></p> <p>(農) 平野協同畜産年間出荷頭数 : 11,000 頭 <H27:8,400 頭></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>(農) 四国デュロックファーム売上高 : 549,095 千円</p> <p>(農) 平野協同畜産母豚数 : 450 頭</p> <p>(農) 平野協同畜産年間出荷頭数 : 9,550 頭</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>(農) 四国デュロックファーム売上高 : 537,271 千円 → 実績 532,751 千円</p> <p>(農) 平野協同畜産母豚数 : 420 頭 → 実績 428 頭</p> <p>(農) 平野協同畜産年間出荷頭数 : 8,400 頭 → 実績 8,362 頭</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (農) 四国デュロックファーム売上高 (6 月末) : 135,894 千円 (前年同期比 89.6%)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>(内訳)</p> <p>養豚売上高(6月末):114,164千円(前年同期比84.8%)</p> <p>加工直販所売上高(6月末):18,985千円 (前年同期比131.4%)</p> <p>飲食店売上高(バル)(6月末):2,745千円 (前年同期比106.3%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(農)平野協同畜産母豚数(7月末):461頭 (前年同期比112.7%) ・(農)平野協同畜産出荷頭数(7月末):2810頭 (前年同期比100.6%) <p>○四万十ポークブランド推進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窪川養豚協会総会の開催(5/24) ・四万十ポークブランド推進協議会総会の開催(6/2) ・打合せ会(クラスター計画の共有・修正、総会の準備、役割分担、進捗管理等) ・防疫研修会:1回 <p>○(農)四国デュロックファーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画に係る打合せ:3回 ・商談会への参加:2回 ・豚バルデュロック神戸店開業(5月) <p>○(農)平野協同畜産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畜産クラスター及び畜舎補改修に係る打合せ:3回 ・農場HACCPに係る打合せ、チーム会:4回 ・既存畜舎3棟の補改修工事完了(5月) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>○(農)四国デュロックファーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工場及び直販所の販売額の増加 ⇒イベントへの出店や営業活動等による販路の拡大及び顧客の確保 <p>○(農)平野協同畜産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出荷頭数の増頭 ⇒衛生管理と生産体制のさらなる向上
<p>■No.16「四万十ヒノキ」をはじめとする地域森林資源の販売促進(中土佐町、四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十町森林組合 ・須崎地区森林組合 	<p>[目標(H31)]</p> <p>地域森林資源の原木生産量(ヒノキ、スギ) :15,400m³<H26:13,999m³></p> <p>集成材工場の売上高:3億円<H26:4億円></p> <p>FSC等認証森林面積:8,013ha<H26:6,678ha></p> <p>販売連携事業者数:3社<H26:0社></p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・ 四万十町 ・ 中土佐町 ・ 地元事業者 	<p>[H29 到達目標]</p> <p>地域森林資源の原木生産量：27,000 m³</p> <p>集成材工場の売上高：2.9 億円</p> <p>F S C 等認証森林面積：7,200ha</p> <p>販売連携事業者数：2 社（累計）</p> <p>[H28 到達状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域森林資源の原木生産量：14,000 m³ → 実績 26,763 m³ ・ 集成材工場の売上高：2.9 億円 → 実績 2.6 億円 ・ F S C 等認証森林面積：7,000 ha → 実績 7,189ha ・ 販売連携事業者数：1 社 → 実績 1 社 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域森林資源の原木生産量（6 月末）：7,222 m³ (前年同期比 114%) ・ 集成材工場の売上高（6 月末）：38,931 千円 (前年同期比 91.4%) ・ F S C 等認証森林面積（6 月末）：7,189ha (前年同期比 100%) ・ 販売連携事業者数（6 月末）：1 社（累計） ・ 産振総合補助金の活用による大正集成材工場展示場の整備 (H28. 10/17 交付決定、5/17 着工、10 月完成予定) ・ 四万十町森林組合大正集成材工場の外商回数：83 回 ・ ベッドメーカー(シモンズ)へのベッド納品(7 月末)：10 台 (H28:140 台) ・ 四万十ヒノキブランド化協議会 幹事会:1 回、総会:1 回 ・ 韓国総領事の視察商談 (4/21) ・ 産地商談会の企画打合せ (森林組合、役場、林業事務所、 4/21) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 四万十ヒノキ集成材製品の販路の拡大 ⇒集成材製品展示場を活用した外商活動の強化 ⇒三者(森林組合、役場、林業事務所)による「四万十ヒノキ販路開拓ワーキング」の開催 (9 月) ⇒大正集成材工場展示場オープニングイベント「(例示)展示場お披露目：産地商談会の開催」(10～11 月頃) ⇒高知もくもくランドでの P R : 10/28(土)、10/29(日) (四万十ヒノキブランド化推進協議会)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 19 四万十川源流クロモジ等中山間資源活用ビジネスの創出(中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知精工(株) 	<p>[目標(H31)]</p> <p>商品販売高:7,000千円<H26:5,701千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>商品販売高:9,500千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>商品販売高:7,000千円 → 実績9,424千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品販売高(7月末):2,763千円(前年同期比94.8%) ・PRの強化に向けHPを改修中(12月完成予定) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路の開拓及び生産量の拡大 ⇒イベントへの出店、HP等でのPR及び製薬会社等への商談
<p>■No. 22 美味しい!須崎の魚(いお)消費拡大プロジェクト(須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・須崎市 ・海の駅「須崎の魚」 	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高:10,000千円<H26:8,027千円></p> <p>交流人口:10,000人<-></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高:9,000千円</p> <p>交流人口:9,000人</p> <p>[H28 到達実績]</p> <p>売上高:9,000千円 → 実績7,236千円</p> <p>交流人口:9,000人 → 実績7,108人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高(7月末):2,023千円(前年同期比88%) ・交流人口(7月末):1,612人(前年同期比100%) ・旬の魚まつり開催(7月末):4回 ・鯉の薫焼きタタキ体験者数(7月末):65人 ・須崎市観光漁業センターとの連携による釣客の魚捌きサービス実施→利用者数(7月末):6組 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぐるーめ須崎の利活用の促進 ⇒定期的なイベント開催による認知度向上 ⇒釣客の魚捌きサービスについて須崎市観光漁業センターと連携したPRの実施

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 23 野見湾産養殖カンパチの販路拡大 (須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大谷漁協 ・大谷漁協ネイリ部会 ・(株) みなみ丸 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>大谷漁協ネイリ部会・みなみ丸売上高 : 86,960 千円<H26:4,320 千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>大谷漁協ネイリ部会・みなみ丸売上高 : 57,612 千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>大谷漁協ネイリ部会・みなみ丸売上高 : 57,612 千円 → 実績 27,600 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高 (6 月末) : 17,760 千円 (前年同期比 165%) ・県外商談会への参加 (県水産物地産外商推進事業費補助金の活用) ・県版 HACCP 第 2 ステージ申請作業中 ・奈良コープでの試食会の開催 : 4 回 (延べ 8 日間) ・須崎市ふるさと納税返礼品として「極美勘八」を全国発送 ・新商品開発に伴う加工機器の導入 (革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金の活用) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路の開拓 ⇒商談会への参加 ・加工場の衛生管理の徹底 ⇒県版 HACCP の取得及び民間会社による衛生指導
<p>■No. 24 浦ノ内湾産養殖マダいの販路拡大 (須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県漁協深浦支所 ・土佐鯛工房 ・乙女会 ・(株) 大東冷蔵 ・(有) 小島水産 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>販売数量</p> <p>土佐鯛工房 : 100 千尾<H26:60 千尾> 乙女会 : 300 千尾<H26:53 千尾></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>販売数量</p> <p>土佐鯛工房 : 80 千尾 乙女会 : 300 千尾</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>販売数量</p> <p>土佐鯛工房 : 80 千尾 → 実績 70 千尾 乙女会 : 300 千尾 → 実績 187 千尾</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売数量 土佐鯛工房 (7 月末見込) : 20 千尾 (前年同期比 92%) 乙女会 (6 月末) : 28 千尾 (前年同期比 153%) <p>[土佐鯛工房]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外のバイヤーによる産地見学会 : 1 回

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・新規漁業就業者の確保：2名が長期研修受講予定 ・海外（タイ及びアメリカ）との取引に向けた商談 〔乙女会〕 ・フィレ等に加工した商品の販売拡大 ・県版 HACCP 第2ステージ取得に向けた保健所との協議 ・須崎市ふるさと納税返礼品として「乙女鯛」を全国発送 ・県外商談会への参加（経営革新・外商支援事業補助金の活用） <p>〔課題と今後の対応〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者の確保 ⇒県主催のセミナー等による継続的な雇用募集
<p>■No. 26 中土佐町地域ブランドの創出と販売促進（中土佐町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中土佐町 ・中土佐町地域振興公社 	<p>〔目標（H31）〕</p> <p>商品売上高：35,987千円<H26:6,635千円></p> <p>〔H29 到達目標〕</p> <p>商品売上高：22,000千円</p> <p>〔H28 到達状況〕</p> <p>商品売上高：22,000千円 → 実績 13,912千円</p> <p>〔取組状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品売上高(7月末)：5,371千円（前年同期比68%） ・鯉のたたき等の商品PR：1回 （「四万十源流の里」指定管理者へ商品サンプル提供） ・「四国×酒国2017」出店（5/28） ・「高知大丸ディスカバリー高知フェア」出店（6/6） ・自民党物産展出店（5/16～5/17） ・「ウェスティンホテル大阪」他2社が「ピンピ鯉」「上々鯉」「特選鯉」の取扱開始 <p>〔課題と今後の対応〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「びんぴ鯉のタタキ」「上々鯉のタタキ」など自社ブランド製品の販売強化 ⇒外商に向けた県外の新規販売先の開拓など ・鯉が少ない時期におけるニーズへの対応 ⇒冷凍技術の導入を検討

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 28 中土佐町SEAプロジェクト</p> <p>《事業主体》</p> <p>・中土佐町</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>年間売上額：340,000 千円</p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>年間売上額：193,500 千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>-</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上額 (7 月末)：43,387 千円 ・市内SEAプロジェクト検討会実施：5 回 ・現地協議：5 回 ・出店予定者との協議：4 回 ・行政支援による設計・調整協議：3 回 ・生産者への講習：2 回 ・プロモーションに関する協議：5 回 (ほか撮影等：7 回) ・POS システム導入に関する協議：3 回 (ほか研修会：6 回) ・産振アドバイザーの活用 (ファストフードコーナーで提供するメニューの開発)：3 回 (4/17、5/12、6/26) ・テナントとの協議：4 回 ・道の駅およびみなとオアシスへの登録(4/21) ・(株) SEA プロジェクト株主総会 (6/1) ・道の駅なかとさ落成セレモニー・オープン (7/6) ・道の駅なかとさグランドオープン (7/15) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町全体の賑わいの創出に繋がる施設や仕組みづくり ⇒お宮さん通りの観光拠点施設や大正町市場等との連携 ・道の駅の着実な経営 ⇒産振アドバイザー等の活用 ・テナントへの事業サポート ⇒人材育成や商品開発に関する支援制度の提案等 ・既存の地元施設との連携による相乗効果の発揮 ⇒道の駅案内所での町内観光地の案内、道の駅 HP での町内イベントへの誘導

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 29 「中土佐のうまいもん食わしちやお」 商品開発プロジェクト(中土佐町)</p> <p>《事業主体》 ・企画・ど久礼もん企業組合</p>	<p>[目標(H31)] 開発する商品数:年1商品(4商品) 商品売上高:50,000千円<H26:32,180千円></p> <p>[H29 到達目標] 開発する商品数:1商品 商品売上高:31,000千円</p> <p>[H28 到達状況] 開発する商品数:1商品 → 実績1商品(マグロワタラー油) 商品売上高:35,000千円 → 実績25,583千円</p> <p>[取組状況] ・商品売上高(6月末):6,073千円(前年同期比88%) (内訳)店舗:2,361千円(前年比102.3%) 出荷:3,712千円(前年比80.9%) ・新商品試作:2商品 ・商談会及び営業活動:5回 ・イベント等でのPR販売:3回</p> <p>[課題と今後の対応] ・新商品の開発 ・販路の拡大 ⇒アドバイザーの活用、セット商品の開発 ⇒衛生面に配慮した加工施設整備の検討</p>
<p>■No. 31 津野町地産地消・外商販売戦略 (津野町)</p> <p>《事業主体》 ・(有)津野町ふるさとセンター ・(株)満天の星 ・津野町</p>	<p>[目標(H31)] 直販所総販売額:1.62億円<H26:1.53億円> 直販所販売額(高知店3店舗):1億円<H26:0.91億円> 満天の星売上:2.27億円<H26:1.89億円></p> <p>[H29 到達目標] 直販所総販売額:1.55億円 直販所販売額(高知店3店舗)0.86億円 満天の星売上:2.17億円</p> <p>[H28 到達状況] 直販所総販売額:1.55億円 → 実績1.48億円 直販所販売額(高知店3店舗)0.8億円 → 実績0.8億円 満天の星売上:2.12億円 → 実績2.35億円</p> <p>[取組状況] ・直販所総販売額(6月末):39,024千円(前年同期比103%) ・直販所販売額(高知店3店舗)(6月末):21,903千円 (前年同期比113%) ・満天の星売上(6月末):61,392千円(前年同期比95%) ・関係者経営会議等:14回</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・販促イベント(のべ14回、37日) 土佐の食1グランプリ、満天の星5周年祭など ・県産品商談会等への参加(1回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者ニーズに応えた生産・供給体制 ⇒各店舗の販売状況の分析 ・統合JAの大型直販所オープンに向けた対策 ⇒町内直販所連絡協議会による検討
<p>■No. 34 須崎市立スポーツセンターを活用した体験型観光等の推進による地域の活性化(須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・須崎市 	<p>[目標(H31)]</p> <p>交流人口:23,000人<H26:16,000人></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>交流人口:18,000人</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>交流人口:17,500人 → 実績25,592人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流人口(6月末):3,730人(前年同期比134%) ・県と須崎市関係各課との協議:1回 ・スポーツセンターを活用した地域活性化策に関する検討会の開催:1回 ・スポーツ合宿(7月末):28人泊 ・個人向け体験プログラムの利用者数:56人 ・ホストタウン登録申請:2カ国(オーストラリア・チェコ) ・オリパラ事前合宿視察受入:1ヶ国(チェコ) ・ハンガリーにおいて、須崎市及び県によるオリパラ事前合宿誘致活動(5/21~5/30) ・施設整備 <ul style="list-style-type: none"> 大島親水公園整備工事(5月着工) 大島管理棟新築工事(4月着工) 大島栈橋設置工事(5月着工) ・カヌーを活用した地域活性化に関する意見交換会の開催(須崎市、本山町、土佐町) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入体制の充実・強化 ⇒合宿受入窓口一本化に向けた協議、地域おこし協力隊の募集 ・PRの強化 ⇒関係者と広報戦略に関する協議

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 39 わざわざいこう「海洋堂ホビー館四万十」を核としたミュージアムのまちづくり(四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十町 ・(株) 海洋堂 ・(株) 奇想天外 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>ホビー館の年間入場客数：50,000人<H26：44,033人> 常勤雇用者数：5人<H26：5人></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>ホビー館の年間入場客数：50,000人 常勤雇用者数：7人</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>入館者数：50,000人 → 実績 43,905人 常勤雇用者数：7人 → 実績 7人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入館者数(6月末)：8,845人(前年同期比62%) ・企画展開催：3回(予定) <ul style="list-style-type: none"> 「海洋堂からの挑戦状」(3/18～5/29) 「これが海洋堂だ展」(7/8～10/2) ・イベントの開催(5/5 ビンゴ大会や2分の1成人式等) ・渋滞対策の実施(シャトルバスの運行及び警備員の配置) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋堂ホビー館を拠点とした滞在型観光の仕組みづくり ⇒観光協会や地元団体等との連携強化

2 平成29年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>■(株)ぶらうん6次化新工場建設に関する調査事業(地域アクションプランを目指す取り組み)</p> <p>※ステップアップ事業</p> <p>6/14 交付決定</p>	<p>・スイーツの増産及び卵を使った総菜の製造・販売に取り組む為に、新商品のマーケティングや製造に必要な新工場についての調査を実施</p>	<p>2,106(975)</p>

3 地域アクションプランの追加、修正、削除(予定)項目

[追加] ■四万十町産鶏卵を使用した加工品の生産拡大《四万十町》

(概要)

養鶏農家が自社鶏卵と地元産の食材を使用した加工品の製造・販売を行う6次産業化に取り組み、販路開拓を行うことで売上アップと新たな雇用の創出を図る。

4 県民参画に向けた取組

- ・梶原町商工会(総会)での産業振興計画の取り組み説明及び県庁支援事業の説明(5/22)
- ・津野町商工会(総会)での産業振興計画の取り組み説明及び県庁支援事業の説明(5/24)
- ・四万十町商工会(総会)での産業振興計画の取り組み説明及び県庁支援事業の説明(5/24)
- ・須崎市商工会議所(総会)での産業振興計画の取り組み説明及び県庁支援事業の説明(6/28)

- ・高知銀行との意見交換会での第3期計画 ver.2 の説明 (6/12)
- ・政策金融公庫との意見交換会 (7/21)
- ・金融機関、商工会他への産業振興計画シンポジウムへの参加案内等 (5月末)

5 相談案件：10件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	5/23	水産加工	水産加工施設整備への支援制度について
2	5/24	新規創業	玩具、雑貨の製造販売について
3	5/31	特用林産	竹パウダー、竹炭等の工場移転について
4	6月	農産加工	農産加工、経営分析について
5	6月	商業	古民家の活用事業について
6	7月	商業	中山間での店舗経営について
7	7月	商業	直販所の運営改善について
8	7/24	畜産	七面鳥増産に向けた体制づくり（組合の組織化）及び外商の相談
9	8/9	特用林産	クロモジ茶の粉末加工について
10	8/14	農産品	農産品の加工場についての相談

有望素材シート（29年度）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	四万十町	素材名	鶏卵
		関連素材	地域農産物（鶏肉、しいたけ、栗など）
現状・課題	<p>〈現状〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)ぶらうんは、昭和50年より四万十町で養鶏を開始し、「コロンスの茶卵」など高品質な鶏卵の生産を行ってきた。平成29年2月の頭羽数調査時点では、約22,000羽の鶏を飼育している。 ・平成24年には、自社鶏卵を使用したこだわりのスイーツを製造販売する店舗「こっこらんど」を開業し、順調に売上を伸ばしている。 ・卵、スイーツの主な販売先としては、直営店「こっこらんど」のほか、県内外のスーパー、デパート、ネット通販等があり、四万十町のふるさと納税返礼品としても人気が高い。 <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小鶏卵生産事業者が減少し大規模事業者への集約が進んでいる ・他の鶏卵生産者との事業の差別化 ・鶏卵消費量の減少 ・生産体制の維持・強化（従業員の確保、製造・作業・配送工程の改善など） ・農場、加工場の衛生管理（HACCP、ISO22000の取得など） 		
	<p>方向後の</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社鶏卵を使用した加工品（スイーツ）の製造販売の規模拡大 ・自社鶏卵と地域農産物（鶏肉、しいたけなど）を組み合わせた惣菜の製造販売開始 ・自社鶏卵と地域食材（トマト、いちじく、苺、栗、ブルーベリー、生姜など）を組み合わせた新商品の開発 ・連携企業と流通・販路等の情報共有を行うことで生産・販売力を強化 		

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	四万十町産鶏卵を使用した加工品の生産拡大				
	関係市町村名	四万十町				
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・養鶏農家が自社鶏卵と地元産の食材を使用した加工品の製造・販売を行う6次産業化に取り組み、販路開拓を行うことで売上アップと新たな雇用の創出を図る。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 施設整備：加工場の規模拡大を行い、スイーツの増産と惣菜を製造できる体制を整備 2. 店舗拡大：高知市内にこっこらんど2号店を開店 3. 移動販売：移動販売車による外商活動を実施 4. 商品開発：既存のスイーツのブラッシュアップ、惣菜商品の開発・販売 5. 販路拡大：展示会、商談会、催事への参加、販促パンフレットの作成、通販サイトのリニューアル 					
事業主体等	<p>【事業主体】 株式会社ぶらうん</p> <p>【関係機関】 地域産品生産農家等</p>					
主な内容・スケジュール	取組手順	事業実施【H29】	1年後【H30】	2年後【H31】	3年後【H32】	4年後【H33以降】
	施設整備	→ ・加工施設整備				→ ・こっこらんど2号店開業 ・移動販売車導入
	商品開発	→ ・スイーツ商品の磨き上げ ・新商品の開発(スイーツ以外の卵商品)				
	販路拡大	→ ・展示会、商談会、催事への参加 → ・パンフレット作成 ・HPリニューアル				
指標・目標	項目	事業実施【H29】 ※H29.11月期	1年後【H30】 ※H30.11月期	2年後【H31】 ※H31.11月期	3年後【H32】 ※H32.11月期	4年後【H33以降】 ※H33.11月期以降
	加工品売上高	50,000千円(見込)	66,185千円	84,677千円	94,262千円	110,411千円
	【設定根拠】	【推計の考え方】 ・(株)ぶらうんの会計年度：12/1～11/30 ・農場部門を除く加工品の売上高				
総事業費等	<p>総事業費 108,498千円（うち29年度 108,498千円） ※H29.8.4時点</p> <p>（内訳 国： 県：50,000千円 市町村： その他：58,498千円）</p> <p>想定する支援事業（補助金名称、人的支援の内容、その他）</p> <p>国： 県：高知県産業振興推進総合支援事業 人的支援：</p> <p>その他：</p>					
備考						

追加項目(案)

【高幡地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
43 四万十町産鶏卵を使用した加工品の生産拡大 《四万十町》	養鶏農家が自社鶏卵と地元産の食材を使用した加工品の製造・販売を行う6次産業化に取り組み、販路開拓を行うことで売上アップと新たな雇用の創出を図る。	・(株)ぶらうん	アクションプランの取組開始:H29		◆施設整備 ◆商品開発 ◆販路拡大

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
	 施設整備 加工施設整備			 こっくらんど2号店開業 移動販売車導入	加工品売上高 (H28:49,691千円)	84,677千円
	 商品開発 ・スイーツ商品の磨き上げ ・新商品の開発(スイーツ以外の卵商品)					
	 販路拡大 展示会、商談会、催事への参加					
	・パンフレット作成 ・HPリニューアル					